

第 2134 圖

あやめ科



ひめひあふぎするせん

一名 もんとぶれちあ

Tritonia crocosmaeflora Lemoine.

(=Montbretia crocosmaeflora Hort.)

本品ハ Crocosmia aurea Planch. ナルひあふぎするせんト Tritonia Pottsii Benth. ナルひめちあらうふとノ間ニ生ジタル一問種ニシテ明治年間ニ渡来シ繁殖旺盛ナルヲ以テ今ハ花草トシテ通常人家ノ庭園ニ之レヲ見、叢生シ、高さ50-80cm 許ノ多年生草本ナリ。根莖ハ球形、繊維多キ膜質ノ鞘状葉ニテ包マレ、側方ヨリ細キ鞘状葉ヲ被アレル筈枝ヲ發出ス。莖ハ葉中ヨリ直立シ、下部ニ二列生ノ葉ヲ互生シ葉葉相接セリ。葉ハ廣線形ニシテ尖リ鮮綠色ヲ呈シ、質硬クシテ直立シ劍背アリ。夏葉莖ノ上部ニ二三枝ヲ分チ、多數ノ柑赤色花ヲ偏側的ノ穂状花穂ニ開キ、花下ノ苞ハ厚膜質ニシテ尖リ紫赤アリ。花ハ徑2-3cm 許。花蓋ハ漏斗状ヲ成シ、筒部細長ニシテ稍曲リ、花蓋片ハ六數、半バ正開シ、各長橢圓形ヲ呈シ鈍頭ナリ。雄蕊ハ三數、花蓋筒ノ内面ニ着生シ、花絲ハ絲狀、藥ハ線形ニシテ黄色。花柱ハ絲狀ニシテ先端ハ三枝ニ岐ル。和名ハ姫檜扇水仙ニシテひあふぎするせんニ似テ小型ナレバ云ヒ、もんとぶれちあハ元ト本品ヲ Montbretia 屬ト爲セシニ由ル。

第 2135 圖

あやめ科



ひあふぎするせん

Crocosmia aurea Planch.

(=Tritonia aurea Pappe.)

明治年間ニ渡来シ觀賞花草トシテ栽培スル多年生草本ニシテ元來ハ南アフリカノ印度洋ニ面セシ地方ノ原産ニ係リ、高さ1m 内外、地下ニハ圓形ノ塊莖ヲ有シ、塊莖ノ外面ニハ厚膜、纖維質ノ葉鞘ト被リ、側方ニハ筈枝ヲ出シテ繁殖ス。葉ハ根生、二列ニ並ビ劍狀ニシテ幅2cm 内外、下部ハ直立シ上部彎曲下垂ス。盛夏、葉心ニ一葦ヲ抽キ、分岐セル穂状花序ヲ着ケ、二十内外ノ花ヲ着ケ。花ハ徑3-4cm、鮮黄色ヲ呈シ、高盆狀漏斗形ヲ成シ、花筒ハ細長ニシテ且ツ稍彎曲ス。花蓋六片平開シ花蓋片ハ倒披針形ナリ。三雄蕊アリ、花絲ハ花柱ト共ニ絲狀ニシテ、花冠ノ上ニ高く直立挺出ス。花柱ハ先端三個ノ短枝ニ分ル。蒴果ハ圓形、三室ヨリ成リ、凹頭ナリ。此種今我邦ニ存スレバ甚ダ鮮シ、之レニ反シ本種トひめちあらうふ、Tritonia Pottsii Benth. トノ間種ナルひめちあらうふ即チ Tritonia crocosmaeflora Lem. ハもんとぶれちあ (Montbretia) ト稱シテ諸處ニ之レヲ見ル。此圖ハ Curtis's Botanical Magazine, tab. 4335ニ從ヒシ者ナリ。和名檜扇水仙ハ跨狀ヲ成セル其葉ノ狀檜扇ノ類シ、水仙屬ニハ非ザレドモ花線稍彷彿タレバ斯ク云フ。

第 2136 圖

あやめ科



にはげきしゃう

Sisyrinchium angustifolium Mill.

本品ハ蓋シ北米産ニシテ明治廿年頃ニ我邦ニ渡リシ多年生小草本ニシテ高さ10-20cm 許、初メ植物園ニ在リシガ今ハ諸處ノ芝地ニ野生狀態ヲ呈スルニ至リ。地下ニ細鬚根叢出ス。莖ハ扁平綠色ニシテ二狭翼ヲ有ス。葉ハ多數跨狀ヲ成シテ莖ノ脚部ニ生ジ扁平ナル線形ニシテ漸次ニ尖リ、縁ニ微齒ヲ有シ基部ハ鞘ト成リ兩縁ハ莖ニ沿下ス。五六月、莖頂ニ在ル長短不同ノ綠色花筒狀ノ二苞間ヨリ二乃至五許ノ粗鬚狀小梗ヲ順次ニ出シテ繖形繖ニ開花シ、小梗ノ脚部ニハ小苞アリ。花ハ徑15mm 許。花蓋ハ基部短筒狀ヲ成シ外面ニ白腺毛アリ、各片ハ星芒狀ニ平開シ、倒卵狀長橢圓形ニシテ尖頭ヲ有シ紫色或ハ白紫色ニ紫條ヲ交ヘ基部ハ黄色ヲ呈シ、朝開暮閉一日ニシテ終ル。雄蕊三、雌蕊一、共ニ花心ニ位シテ小ナリ。子房ハ下位ニシテ倒卵狀橢圓形ヲ成シ綠色ニシテ細腺毛アリ。蒴果ハ下曲セル小梗ヲ以テ下垂シ、小球形、膜質ノ壁ヲ有シ、無毛光澤アリテ通常褐色ヲ呈ス。種子ハ細微。上ノ學名ハ多少疑問ヲ以テ之レヲ用キタリ。和名ハ庭石菖ノ意、庭ニ生ジ其苗せきしゃうノ狀アレバ云フ。

ひあふぎ (射干)

古名 からすあふぎ

Gemmingia chinensis O.Kuntze.

(=Ixia chinensis L.; Belamcanda chinensis Leman; Pardonthus chinensis Ker.; B. punctata Moench.)

山原ニ生ジ直立シテ高さ50cm-1m 餘アル多年生草本ニシテ又觀賞花草トシテ往々栽培スルヲ見ル。根莖ハ短クシテ筈枝ヲ出ス。莖ハ綠色、下半ハ扇形ニ排列セル跨狀ノ綠葉ヲ着ケ、梢ハ花穂ト成ル。葉ハ廣劍形、扁平ニシテ多少粉白色ヲ呈ス。夏日、莖頭疎ニ再三分枝シ枝端ニ有梗ノ數花ヲ着ケ、下部ハ筒狀苞四五片ニ包マル。花ハ徑5-6cm、黄赤色ニシテ内面ニ濃色ノ暗紅點ヲ滿布ス。花蓋六片、同形ニシテ平開シ、長橢圓狀劍形、鈍頭銳底、花蓋筒ハ極メテ短シ。雄蕊三、長約有ハ絲狀ニシテ雌蕊ヲ圍ミテ立ツ。花柱ハ上部漸次ニ放大シ横ニ傾斜シ、子房ハ下位、橢圓形、綠色。蒴果ハ膨脹セル倒卵狀橢圓形ニシテ長さ2.5-3cm、中ニ光澤アル黒色ノ圓形種子ヲ容ル。園藝品ニベニひあふぎ (f. rubriflora Makino) アリ花色赤シ、きひあふぎ (f. aureoflora Makino) アリ花色黄ナリ、だるまひあふぎ (var. crurata Makino) アリ矮生ナリ。和名檜扇ハ其葉檜扇狀ヲ呈スルヨリ云ヒ、烏扇ハ其葉檜扇ノ如ク其種子黒色ナレバ云フ、而シテ此黒キ種子ヲぬば玉又ハうは玉ト呼バ。

第 2137 圖

あやめ科



第 2138 圖

あやめ 古名 はなあやめ

Iris Nertschinskia Lodd.

(=I. orientalis Thunb.; I. sibirica L. var. orientalis Maxim.; I. sanguinea Donn.)

山野ニ生ズル多年生草本ニシテ高さ30-50cm 許、又人家庭園ニ栽エテ觀賞ス。根莖ハ横向シ多脚的ニ分岐シテ繁殖シ、赭褐色ノ舊纖維ヲ着ケ、苗ハ多クハ叢生ス。莖ハ綠色圓柱形ニシテ葉間ニ抽出シテ直立ス。葉ハ直上シ劍形ニシテ漸尖シ平面ニシテ隆起脈無ク多少蒼綠色ヲ呈シ基部ハ鞘状ヲ成シ淡紅色ヲ帯アル者多ク、幅5-10mm 許アリテはなしゃうふ等ヨリ狭シ。初夏ニ入りテ莖頂ニ紫色ノ美花ヲ開ク。花ハ徑7-8cm 許アリテ小梗ヲ有シ、綠色ニシテ紅紫線アル直立鞘苞間ニ三層アリテ順次ニ開綻ス。外花蓋三片ハ下垂シ、基部ハ圓形、基部部ハ急ニ狹窄シテ花爪ト成リ黄色ニシテ鮮ナル横紫脈ヲ有シ、内花蓋三片ハ細葉ニシテ直立ス。雄蕊ハ三、花柱枝ノ背面ニ在リ、藥ハ外向ニシテ暗紫色。花柱ノ分枝モ亦紫色ヲ呈シ、先端ニ裂シ裂片ハ淺ク細裂シ、其下ニ柱頭アリ。子房ハ下位、狹長。蒴果ハ有柄ニシテ直立シ長さ3.5-4.5cm ノ三棱性形ニシテ質硬ク、兩端少シク尖リ、頂部開裂シテ褐色ノ種子ヲ出ス。花白色ナルヲシるあやめ (var. albiflora Makino) ト云ヒ外花蓋片稍狭キヲ常トス、又くるまあやめ (var. stellata Mak.) アリ内花蓋片大形ト成ル、又ちほあやめ (var. pumila Mak.) アリ全草小形ニシテ紫花或ハ白花ヲ開ク。和名あやめハ蓋シ文目ノ意ニシテ其葉ノ排列シテ立テヨリ謂ヒシナラン。昔あやめト云ヒシハ今日ノしゃうふ即チ白菖ナリ、花あやめハ花ノ咲クあやめ(しゃうふ)ノ意ナリ。漢名 溪蓀・菖蒲 (共ニ誤用)

あやめ科



第 2139 圖

はなしゃうふ

Iris ensata Thunb. var. hortensis

Makino et Nemoto.

(=Iris Kämpferi Sieb. var. hortensis Makino.)

淺水地或ハ水邊或ハ泥濘地ニ栽培スル多年生草本ニシテ高さ60-80cm 許、叢生ス。根莖ハ横向シ多脚的ニ岐レテ繁殖シ、下ニ鬚根ヲ發出ス。莖ハ直立シ、綠色、圓柱形、葉ヲ二列的ニ互生ス。葉ハ直立シ劍狀ニシテ漸尖シ、多少碧色ヲ帯ビシ綠色ヲ呈シ隆起セル中脈ヲ有ス殊微アリ。初夏ノ候、葉間ヨリ抽ク一莖ハ時ニ疎枝ヲ分チ頂ニ直立セル二鞘苞アリテ苞間ヨリ抽出シ顯著ナル美花ヲ開キ小梗アリ、其大ナル者ハ徑15cmニ達シ、紫・白・紋リ等種々ノ色アリテ其鏡發ノ狀眞ニ觀ルベシ。外花蓋片ハ基部闊ナル圓形、底部ノ中央ハ黄色ヲ呈シ、且ツ中脈ニ大小多數ノ脈條ヲ見ルベシ、内花蓋片亦闊大ト成ル者多シ。雄蕊ハ三、花柱枝ノ背面ニ在リ、藥ハ外向ニシテ黄色。花柱分枝ノ先端ハ全邊或ハ有齒ノ二小片ニ分岐シ其下ニ柱頭アリ。子房ハ下位、狹長。蒴果ハ長橢圓形、三數片ニ開裂シ、褐色ノ種子ヲ出ス。原種ハのはなしゃうふ (var. spontanea Nakai = I. Kämpferi Sieb. var. spontanea Makino) ト稱シ山野ノ乾地ニ生ジ赤紫色ノ花ヲ開ク、全體瘦長ニシテ外花蓋片ハ橢圓形ヲ呈シ内花蓋片ハ小形ナル筒狀ニシテ直立セリ、往々之レヲはながつみト云フハ非ナリ。和名ハ花菖蒲ニシテ花ノ咲ク菖蒲ノ意ナリ。

あやめ科

